

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	トータルプロデュース 3	
科目基礎情報							
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	サウンドクリエイターコース			開設期	前期
対象年次	2 年次	科目区分	必修			時間数	30時間
単位数	1 単位	授業形態	実習				
教科書/教材	教科書「ミュージッククリエイターハンドブック」使用する。資料を配布する。						
担当教員情報							
担当教員	満園			実務経験の有無・職種	有・ミュージシャン・作曲家		
学習目的							
入学前より音楽制作を志した学生達にとって現在の音楽制作の現場は多様化を極めた未知なる領域である。この講義はその業界のクリエイター、作曲家、パフォーマーとなる学生達に現在の音楽業界のあり方や音楽制作現場での実情を紹介して学生達の理解を深める物である。就学を終え新時代の音楽業界へ入って行く際に必要となる知識、現場での正攻法を対処法を紹介して萎縮する事無く制作、パフォーマンスに打ち込める心構えを備えさせる物である。教科書を通して必要な事を学び次世代の音楽制作を一人一人が新たに発想出来るように指導する講義である。							
到達目標							
現代の音楽制作の場において高度なデジタル化やWeb上での配信、受け渡しなど利便性が上がる一方でクラシックの時代にはじまり1900年代初頭の音楽業界が産声を上げ始めた頃の制作方法、技術も珍重されている。最もアナログな制作方法として紙とペンによる作詞や譜面起こし、ギターやピアノと歌のみでの音楽制作も依然として主流である。学生一人一人が学んで行く中でどのようなタイプのクリエイター、パフォーマーになって行きたいかを共に考え様々なジャンルに活路を見出せるクリエイターを育てる事が目的である。							
教育方法等							
授業概要	学校指定の教科書「ミュージッククリエイターハンドブック」を元に音楽の歴史、社会における音楽の在り方、重要性、レコーディング機材の進歩や現在の形、アナログ楽器からデジタル機材などの音色や演奏における効果の紹介、日本や海外の様々なクリエイター、エンジニアの紹介など音楽業界にいる上で不可欠な知識を身に付ける。同時に講師が日々経験する音楽制作現場での体験や過去に見てきた様々な制作事例を紹介。日々の新しい話題、必要事項などはプリントにて配布する。						
注意点	クリエイター、プレイヤー、パフォーマーはその個人のアーティスト性が認められた上での職業となるので他の人への変更ができない仕事である。一般社会における「代理を立てる」と言う方法ができない職種で有るので強く責任感を強く持たなければ遂行できない。その事を一年を通して説明する。遅刻や欠席の場合は事前に報告。音楽業界でいま何が注目を集めているか一人一人がアンテナを張る努力をする事は重要である。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験	30%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	提出物	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	成果発表 (口頭・実技)	30%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1 回	現代の音楽作成を知る（1）			教科書「音楽再生の歴史」の内容を理解する。			
2 回	現代の音楽作成を知る（2）			教科書「音楽制作の歴史」の内容を理解する。			
3 回	現代の音楽作成を知る（3）			教科書「現代の音楽制作プロセス」の内容を理解する。			
4 回	音楽制作ツールとセッティング（1）			教科書「コンピューターの基礎知識」の内容を理解する。			
5 回	音楽制作ツールとセッティング（2）			教科書「オーディオインタフェースの知識」の内容を理解する。			
6 回	音楽制作ツールとセッティング（3）			教科書「DAWの基礎知識」の内容を理解する。			
7 回	音楽制作ツールとセッティング（4）			教科書「DAW以外のソフトウェアとプラグインソフトウェア」の内容を理解する。			
8 回	音楽製作ツールとセッティング（5）			教科書「音楽制作にまつわる他のソフトウェア」の内容を理解する。			
9 回	MIDI企画について（1）			教科書「MIDIの基礎知識」の内容を理解する。			
1 0 回	MIDI企画について（2）			教科書「チャンネルボイスメッセージ」の内容を理解する。			
1 1 回	MIDI企画について（3）			教科書「GM音源とスタンダードMIDIファイル」の内容を理解する。			
1 2 回	MIDI企画について（4）			教科書「MIDIメッセージの仕組み」の内容を理解する。			
1 3 回	MIDI企画について（5）			教科書「モードメッセージとシステムメッセージ」の内容を理解する。			
1 4 回	MIDI企画について（6）			教科書「同期関連のメッセージ」の内容を理解する。			
1 5 回	まとめ			全体のまとめ			